

第33回

教文研教育シンポジウム



「気になる子」の理解と援助

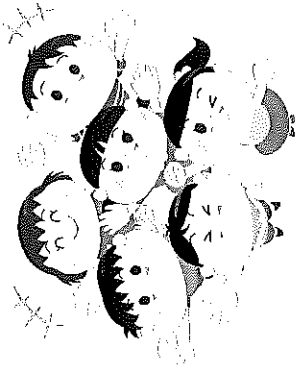
～友だちや大人とのかかわり～

神奈川県教育文化研究所では、1981年に「親と教師の教育相談室」を開設し、心理学を専門とする大学教員等の相談員を配置し、当時激増しはじめた「不登校」や複雑化していく発達障害・学習障害など様々な対応を行ってまいりました。“いじめ”“体罰”“学級崩壊”などについても研究協議の場をもち、議論を深めてまいりました。また、「不登校問題シンポジウム」など(を)開催し、子どもたちの現状や対応について教育現場へ発信してきました。

さて、教育現場において、行動や感情をコントロールできない、他者とうまくコミュニケーションが取れないなどの特徴をもつ、いわゆる「気になる」児童・生徒へのかかわり方が大きな課題となっており、教員一人ひとりがとらえる「気になる」子どもは、クラスの人間関係が原因でトラブルを起こしたり、親によるDVが絶えない事例などさまざまです。さらには、外国につながる子どもたちへの対応も新たな課題となっています。

こうした子どもたちの行動の背景をどうとらえ、具体的な支援をどのように進めていくのかについて、組織的な体制づくりが求められています。そこで、今回のシンポジウムではこれまでの教文研活動の成果を十分ふまえながら、「気になる子」についてどう理解し、どのような援助や支援を行っていくと良いのかについて考えてまいります。

多くの皆様のご参加をお待ちしています。



日 時 2019年12月7日(土)

13時30分 受付開始

14時～16時30分

会 場 公益財団法人 横須賀三浦教育会館

〒238-0006

神奈川県横須賀市日の出町3-19-16

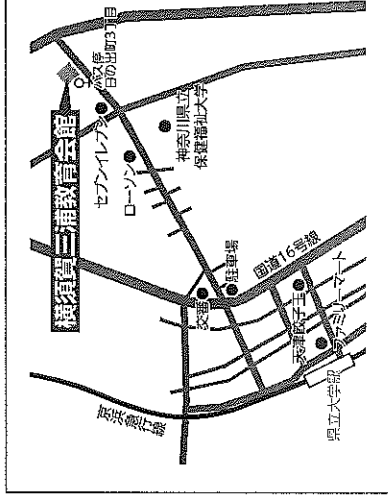
電話：046-824-0683

シンポジスト

- 中野 早苗 (臨床心理士 スクールカウンセラー)
- 松浦 和代 (三浦半島地区教育文化研究所教育相談員)
- 小学校より (二名) (県内公立小学校教員)

コーディネーター

- 林 洋一 (医療創生大学教授)



【交通案内】

◎京浜急行線「県立大学駅」

下車徒歩10分

◎JR横須賀線「横須賀駅」からバス

京急バス「須12」平成町循環

「日の出町3丁目」下車

入場無料・直接会場までお越しください。

*保護者や地域の方々にも声を掛けてください。

*お問い合わせは、神奈川県教育文化研究所

(横浜市西区藤棚町 2-197 ☎ 045-241-3497)

■主催/神奈川県教育文化研究所 (一財)神奈川県教育会館

■共催/三浦半島地区教育文化研究所

■後援/神奈川県教育委員会 横須賀市教育委員会 三浦市教育委員会 逗子市教育委員会

葉山町教育委員会 (一財)神奈川県高等学校教育会館教育研究所